

令和4年度「Sport in Life 推進プロジェクト モデル事業採択団体一覧

(順不同 1/4)

代表団体	構成団体	事業タイトル	概要	ターゲット
KDDI株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人横浜市スポーツ協会 ・NUWAロボティクス Japan 株式会社 ・株式会社エイチ・アイ・エス ・株式会社ジェイエスピー 	AI・ロボティクス技術による個人に最適化されたスポーツ促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドワーク勤務の 20-50 代ビジネスパーソンを対象とした「AI・ロボティクス技術による個人に最適化されたスポーツ促進事業」 ・本事業の与件である「生活にスポーツを取り入れる」ことに対して、就労環境という日常行動の中にスポーツを取り入れる企画として、約1 か月半 × 2期のスポーツ増進プログラムを実施する。実施スポーツは、ウォーキングやストレッチなど場所や用具を必要としない気軽に実施出来るものとし、きっかけづくりと習慣化支援を行うこととする。 ・本事業の特徴点は、「昨今の社会状況・トレンド等」にあたる新しい働き方であるオフィスワークとテレワークを組み合わせたハイブリッドワークに着目した点である。オフィスワーク時は入社ついでにスポーツをする考え方を訴求、テレワーク時は休憩時間などに気軽に取り入れられるものを提供し、体験者の働き方に応じたスポーツ促進により実施率向上を狙う。さらにこれらのスポーツの奨励を、体験者との対話を通して個人を理解するAI・ロボティクス技術を用いて支援する。 ・企業向け健康経営支援という各企業共通の課題にアプローチすることで、モデル事業後の展開汎用性と国費以外での継続性を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代/子育て世代 ・女性
一般社団法人 さいたまスポーツ コミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮アルディージャ ・さいたまブロンコス ・株式会社エスエイチモア ・シントシティ自治会 ・日本コンベンションサービス株式会社 	余暇時間を活用した“無意識の運動習慣”促進 (「見る」スポーツ+地域巡り+魅力発見=動くことの楽しさへ)	「見る」スポーツとして多くの人が集うリーグの試合機会を活用し、「する」スポーツへの参加を促す。スポーツの試合観戦客には、自身は運動習慣がない人も多い。そこで観戦客に対し、地域を回遊するプログラムを提供し、通常であれば駅などからスタジアムに直行する動きを、試合前後に地域内を巡る動きへと変化させ、「いつの間にか運動している」状態を作り上げる。回遊コースには地域の魅力を反映したスポットを選定し、ウォーキング、ジョギング、サイクリング等、その人に応じた選択ができるように設定する。試合を楽しみつつ、地域を巡る中で自分自身も自然と運動をできるようになり、余暇時間における運動の習慣化につながる。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供/若者 ・働く世代/子育て世代 ・女性 ・高齢者
スポーツデータバンク 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社アシックス ・東日本電信電話株式会社 	中学生の運動・スポーツ意識改革プロジェクト～誰もが参加できる「学校×ICT」によるスポーツ機会の創出～	民間企業・地方自治体が連携し、子供・若者のうち特に中学生に対して、スポーツ実施率の向上及びスポーツ環境整備の推進に向けた取組を行うものである。まず、中学生がスポーツに意識を向けるアプローチとして、自分のカラダの状態をデータで正しく把握し、健康意識を持たせることにより、運動・スポーツに対する興味関心を高めていくことを目指す。その先、中学生の1日の大半を占める学校生活（授業／部活動／放課後等）において、手軽に始められる多様な運動・スポーツの充実や指導者によるデータを踏まえた効果的な指導が受けられる環境整備を同時に行う。中学生のスポーツ実施が学校生活だけでなく、地域等にも活動環境を広げることを目指すものであり、本実証効果による中学生の運動・スポーツ意欲・実施率の向上が将来の地域のスポーツ環境拡充の機運とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供/若者

※構成団体のうち下線で示した団体はSport in Lifeコンソーシアム加盟団体（企画提案書提出時点）

令和4年度「Sport in Life 推進プロジェクト モデル事業採択団体一覧

(順不同 2/4)

代表団体	構成団体	事業タイトル	概要	ターゲット
セントラルスポーツ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>順天堂大学スポーツ健康科学部</u> ・<u>千葉市スポーツ振興課</u> ・<u>公益財団法人千葉市スポーツ協会ちばしパラスポーツコンシェルジュ</u> 	<p>障害のある人もない人も、すべての人に水泳と健康を！『インクルーシブ“共泳”教室』</p>	<p>障害者のスポーツ実施への無関心率は健常者よりはるかに深刻である。公共施設や民間団体等で知的障害児向けの水泳教室は散見されるが、他の障害種別・複数の障害種別を対象とした例はほぼ見当たらない。そこで、障害者を対象とした過去のモデル事業を発展させ、障害種別に関わらず水泳を楽しみたい子供と保護者を対象に「インクルーシブ“共泳”教室」（水遊び、水中運動要素含む）を実施し、プログラムや指導方法を検証する。また、その知見をリーフレット化して公開するなど、民間、公共に関わらず展開可能なシステムを構築し、障害のある子供たちが日常的に水泳を楽しむ環境づくりを目指す。さらに、共生社会実現に向けて、健常者が本水泳教室に主体的に参加し、障害の有無に関わらず共にスポーツを楽しむ「インクルーシブ共泳イベント」も実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供/若者 ・働く世代/子育て世代 ・障害者
株式会社第一興商	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>愛知県蒲郡市</u> ・<u>株式会社クレメンティア</u> 	<p>～世代間交流を通じて日常生活にスポーツを！地域を丸ごと健康に！～シニアもジュニアも誰もが一緒に楽しめる「ダンスdeエクササイズ」Project(プロジェクト)</p>	<p>我が国は「超高齢社会」に突入したが、高齢になってもまだまだ元気に活動する「アクティブシニア」という考え方が注目されるようになってきている。この層は、趣味、ボランティアや仕事等の様々な活動に積極的で若々しく、それゆえに従来型の健康づくりや介護予防を主とした活動に対しては敬遠しがちである。しかし、健康づくりや介護予防の観点から、日頃からカラダを動かす機会を持つことは介護予防ひいては健康寿命の延伸に必要不可欠な要素である。また最近、シニア世代でも昭和から平成のヒット曲に合わせたリバイバルダンスによる心身の健康づくりや、Tik Tokなどのダンス動画が流行る等の傾向が見られている。本事業では、従来型の介護予防等の施策には取り込みにくいアクティブシニア層とその孫世代・家族を対象に、「孫世代と一緒に楽しむダンスエクササイズ講座」をリアル及び配信型で実施する。これにより、スポーツを日常化させながら、当該層における運動・スポーツ実施者の拡大を図る。更に、核家族化や、コロナ禍等で、コミュニティの希薄化が進んでいた地域のつながりを深めていくことで、スポーツと音楽を通じて、人もまちも元気にする事業に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供/若者 ・働く世代/子育て世代 ・高齢者
株式会社ティップネス	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>藤枝市</u> ・<u>静岡産業大学山田研究室</u> ・<u>株式会社センシング</u> 	<p>中山間地域の高齢者と都市部の子どもをつなぐオンライン運動事業</p>	<p>本事業では、外出頻度向上をはかることが困難な中山間地域の高齢者と、コロナ禍で運動機会が減少している都市部の子どもたちをオンラインでつなぎ、定期的な運動あそび教室で身体を動かしてもらうことで、両世代の運動機会の向上をはかる。運動あそびのあとはオンラインでのコミュニケーションタイムを設け、継続参加意欲向上をはかる。具体的には静岡県藤枝市の中山間地域の高齢者30～40名程度、保育園等の子どもたち50名程度を募り、1回45分間の教室を4か月実施し、参加効果を検証する。次回教室までの間、自宅や園で実施してもらう運動メニューを宿題として出し、次回成果を披露してもらう形式を取ることで、生活にスポーツが受け込むようはかる。オンラインを活用することで他の地域でも展開しやすいモデル事業創出を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供/若者 ・高齢者

※構成団体のうち下線で示した団体はSport in Lifeコンソーシアム加盟団体（企画提案書提出時点）

令和4年度「Sport in Life 推進プロジェクト」モデル事業採択団体一覧

(順不同 3/4)

代表団体	構成団体	事業タイトル	概要	ターゲット
一般社団法人日本スポーツエンターテインメント	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市 ・出雲市 ・安来市 ・米子市 ・境港市 ・NPO法人島根ベースボールイノベーション ・株式会社スポーツイノベーション ・ノーマプロダクション株式会社 ・島根県農業協同組合 ・C3pro株式会社 ・社会福祉法人あさがお福祉会 ・一般社団法人出雲漢方研究会 ・島根県立松江南高等学校 ・学校法人石川高等学校 ・株式会社必ず楽しい ・鳥取大学医学部附属病院スポーツ医科学センター 	空間・時間・仲間の3つの「間」の壁を克服する！「楽しいうれしい運動プロジェクト」	小学生を対象に「楽しいうれしい運動プロジェクト」を実施する。本事業では、運動をする環境である3つの間（空間、時間、仲間）を再構成すると共に、情報空間の活用を進め、 <ol style="list-style-type: none"> ① 楽しいうれしい運動イベント（週一回、地元の学校グラウンドや市の体育施設等で体力運動能力測定＆かけっこ上達プログラム＆ボール遊びを実施） ② オンライン朝トレ（平日朝6:45～7:00、自宅でフィジカルトレーニング指導＆やる気アップスピーチ） ③ スマホアプリによるトレーニング（体力把握と改善策のフィードバックに基づき自分のできる時間に自宅で改善ドリル、）の3つの運動機会を提供することで、おのおのの子どもの運動事情に考慮して運動習慣を定着させ、スポーツ実施率を向上させる。 ④ オンライン保護者向け研修会（金曜日20:00～20:30、自宅、運動を通じた子どもとの関わり方）を実施し、子どもの成長をサポートする保護者のリテラシーを向上させる。サブターゲットとして、保護者、高校生、指導者を位置づけ、自治体組織に加え、地域スポーツ関連団体・企業等の幅広い参画を得て、地域で進め定着させる普及活動を行う。効果検証では、4県、7市（地域）での実施を行うことで、全国に展開する際の実効性を検証する。また、スポーツの実施時間増加と体力バランスの向上をデータで示すと共に、体力に関する意欲・意識と知識の変化についても、子どもと保護者、高校生にアンケートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供/若者 ・障害者
ローヴァーズ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ルネサンス ・株式会社クレメンティア 	地域の誰もがスポーツに親しみ楽しさを実感できるインクルーシブスポーツ推進プロジェクト「みんなのアソビバ」	スポーツ基本法では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人の権利」とし、各々の関心、適性等に応じて、日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむ活動等に参画することのできる機会の確保を示している。しかし、現状においては、障害の有無や運動の得手不得手、家庭環境等の制約により、その実現には課題を有している。そこで、本事業では、子ども世代とその保護者を対象に、地域のスポーツ・コミュニティ交流拠点である中郷アリーナを起点に、障害の有無や家庭などの環境条件を問わず、地域の誰もがスポーツに親しみ楽しさを実感できる機会を提供し、日常にスポーツの機会を浸透させることを目的に、インクルーシブなスポーツ環境の推進につながる「みんなのアソビバ」事業を展開する。これにより、地域住民の日常的かつ気軽なスポーツ・コミュニティ交流拠点を活用しながら、スポーツに親しみ体を動かす機会を創出し、運動の習慣化を支える環境の充足・拡充を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供/若者 ・働く世代/子育て世代 ・女性 ・障害者

※構成団体のうち下線で示した団体はSport in Lifeコンソーシアム加盟団体（企画提案書提出時点）

令和4年度「Sport in Life 推進プロジェクト モデル事業採択団体一覧

(順不同 4/4)

代表団体	構成団体	事業タイトル	概要	ターゲット
吉本興業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社LAVA International UAゼンセン (全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟) 学校法人近畿大学 	女性向け「笑うヨガ」プログラムの実施	本企画は、『女性』が日常生活・行動において気軽に参加・取り組みやすくダイエットや美肌といった表面的な効果だけではなく、女性特有の体の悩みにも効果的であるとされており、女性人気の「ホットヨガ」を全国的に展開している株式会社LAVA Internationalと、多くのお笑い芸人が所属し、日々エンターテインメントの持つ力を追求する「吉本興業株式会社」が『女性に人気のヨガ』に『笑い』の要素を足したスポーツ＝「笑うヨガ」を共同で開発し、「UAゼンセン」が調整した法人の所属者を対象に「リアルイベント」「オンラインイベント」の2通りで実施することで、それぞれの効果を検証する。	・女性
公益財団法人横浜YMCA	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科作業療法学専攻笹田研究室 学校法人 横浜YMCA(横浜YMCAスポーツ専門学校) 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター インターネット依存治療部門 三原聡子 	ゲーム・スマホ依存傾向にある小中高生を対象とした運動・スポーツの意欲向上と生活時間の変化の実証実験	コロナ禍により、自宅で過ごす時間が増えた中、運動・スポーツを阻害している要因を、①ゲーム・スマホの過度な使用、②ゲーム・スマホ以上に楽しいと思える運動がない環境、③保護者の依存症や運動効果に対する知識不足という仮説をたてた。そして、どのような運動・スポーツの経験や環境、学習機会の提供が、ターゲットとなる小・中・高生のデジタル機器の使用時間を減らし、運動・スポーツに対する意欲を向上させ、生活時間に変化を起こせるのか実証実験を行う。これからますます広がるデジタル社会にあって、心も体も健康的な豊かな生活を送るために、体のメンテナンスにつながる体操や運動機会の促進に向けた取組みを探る。	・子供/若者
公益財団法人秦野市スポーツ協会	<ul style="list-style-type: none"> 秦野市 秦野商工会議所 秦野市農業協同組合 	「はだの健幸スポーツ応援券」発行事業によるスポーツ人口拡大方略 ※健幸＝健康×幸福～地域スポーツ協会と商工会議所・農業協同組合（JA）の連携事業～	コロナ禍が続く中、政府や自治体では、Go to Travelクーポン券や地域経済振興クーポン券等の配布事業を活用した経済対策事業や市民の健康管理のため、医療分野で健診クーポン券の配布等を実施しており、クーポン券を利用した市民の生活も日常化してきています。しかし、スポーツ政策分野では、スポーツ人口拡大に向けた取組として、スポーツ教室への参加を促す「健幸スポーツ応援券 ※健幸＝健康×幸福」を配布するような取組は見当たりません。そこで本事業では、神奈川県秦野市がスポーツ人口拡大に向けた課題としてあげている、ビジネスパーソン及び子育て世代の女性をメインターゲットに定め、秦野商工会議所（以下、「会議所」という）の会員企業（従業員、家族）及び秦野市農業協同組合（以下、「JA」という）の組合員のうち、運動・スポーツ実施準備期にある人に、「健幸スポーツ応援券」配布事業（一人当たり10回分の応援券）を展開し、応援券配布事業によるスポーツ人口拡大効果を検証します。本事業実施に当たって応援券を利用し参加いただくスポーツ教室は、本事業のために開設する教室64講座（テニス、ボルダリング、フィットネス等教室）の受け皿を用意する予定です。また、対象者の行動変容を見るため、本事業実施前後でのアンケート調査や応援券利用率等の統計資料も得て効果を検証します。	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代/子育て世代 女性

※構成団体のうち下線で示した団体はSport in Lifeコンソーシアム加盟団体（企画提案書提出時点）